

松井エコエネルギー本社

弊社の創設は、ECO（環境・生態の・生態学の）に貢献することが建一意であることから第1次・第2次産業に関連する分野に集中して研究に邁進し、現在はそれなりの開発をするに至りました。

その中で弊社が開発した農法には、①土を介した「磁気附与農法」と②水を介した「気泡磁化水・振動水附与農法」であります。

地球上で生命体が生きていくためには、それぞれの目的因子（環境因子・栄養因子・遺伝因子等）を満たさなければならない。

取り分け、植物界にあっての因子を大別すると、太陽、地磁気、空気、土、水、温度、湿度及び養分等ではないでしょうか。

ところが現在の地球を取りまく環境は、オゾン層体の部分欠除、地磁気帯の乱れ・減少、空気、土、水の汚染等々と懸念材料が目白押しである。

そのため弊社は、農作物に対応する磁気の活用で空気の活性・水・土、の改善を求めて、鋭意研究を重ね、且つ実験検証を積み重ね目的とする前記農法を達成するに至りました。

① 松井式磁気附与農法（無農薬・減農薬を基本に）
（特許農法）

② 松井式気泡磁化水・振動水附与農法（無農薬・減農薬を基本に）
（特許農法）

上記2農法は、日光・大気・水及び養分等の摂取手法「**磁気力**」（特許手法）を介し冠することにより植物が元来持っている成長力を引き出し、計画に基いた営農を実践し従前農作より、労働力の軽減を計り、且つより多くの収穫を獲得できる新農法技術であります。

同農法は、従前農法の常識を覆し、それぞれがもつ生命体の成長力を最大限に発揮できる環境を誘引させ、

生育を早く→大きさ・長さ・高さを求め→収穫増量を求め→カルシウム・ミネラル・ビタミン含有増を求め→4定（定時・定量・定価格・定品質）を実現させ、





且つ地球環境にやさしい（CO₂排出0）農法を確立させ、そして営農全体の所得向上に寄与することにある。

興味のある御傍様、松井式磁気農法を開拓する許諾を受けた我々と共にこの農法に参加してみませんか。

※同農法の特許装置及び図形

①磁気附与農法

磁気附与農法の構成装置の基本は10a当たりの原則として

磁気誘導式小型熱風機 × 2台 (国際・国内特許取得) (必要に応じてセラミックヒーターを付設)	
作物成長及び旨味向上装置 × 1台 (国際特許申請中) (国内特許取得)	
害虫駆除機能付循環扇 × 1台 (国内特許取得)	
一般循環扇 × 4台 (国内特許取得)	

②気泡磁化水・振動水附与農法

気泡磁化水・振動水付与農法の構成装置の基本は10a当たりの原則として

磁気誘導式小型熱風機 × 2台 (国際・国内特許取得) ※内1台は給湯機として使用 (必要に応じてセラミックヒーターを付設)		
	小型熱風器	給湯器
作物成長及び旨味向上装置 × 1台 (国際特許申請中) (国内特許取得)		
害虫駆除機能付循環扇 × 1台 (国内特許取得)		
一般循環扇 × 4台 (国内特許取得)		
空気供給器 (国際特許申請中) (実用新案権取得)		

松井式磁気農法許諾社

〒

住所

社名

加温農法と磁気農法の相違点

●加温農法（宮崎県農業試験場のデータ）

1・宮崎県の主要施設作物生育ステージ温度（ハウス内最低温度）

イチゴ	→	5℃	～	7℃
トマト	→	13℃	前後	
キュウリ	→	13℃	～	14℃
メロン	→	18℃		
ピーマン	→	18℃		
Hミカン	→	20℃		
マンゴー	→	22℃	～	23℃
洋ラン	→	10℃	～	13℃
菊	→	13℃		

●磁気農法（収穫は上記農法の数倍を目標、消費エネルギー

は重油の 1/10 程度を目標）

2・松井エコエネルギー本社の主要施設作物生育ステージ温度（目標）

（ハウス内の最低温度）

イチゴ	→	2℃（チャレンジ）	
トマト	→	2℃（実証済）	→ 2℃で平年以上の収穫があったよ。
キュウリ	→	3℃（チャレンジ）	→ 近未来に報告
メロン	→	5℃（チャレンジ）	→ 収穫についてはインターネット上に掲載どうり
ピーマン	→	5℃（チャレンジ）	→ 近未来に報告
Hミカン	→	10℃（チャレンジ）	
マンゴー	→	12℃（チャレンジ）	
洋ラン	→	0℃（実証済）	→ 0℃で平年以上の収穫を得たよ。
菊	→	0℃（実証済）	→ 0℃で平年以上の収穫を得たよ。